

斜め文字は住民コメントです。

永水地区水利組合代表 園田義昭様

平成23年12月8日  
株式会社 キリンア  
代表取締役 鎌田善政

### 3者協議、回答保留項目についての回答

#### 1. 防災担当者への質問

● 別紙

2. 昨年7月洪水発生時点で御社が県に提出していた防災施設の工期を教えてください。

● 18年6月着工 18年12月完成

洪水の時には防災施設は完成しているはずでした。この直後、7月30日に先送りの変更届を出しています。

3. 林地開発変更届出書について御社は「この書類は受理してもらったことから承認を受けたものと認識している」と発言されました。私たちは再度、森林整備課に照会しましたところゴルフ場の施設の工程変更は届出事項であるので受理した。防災施設工事は林地開発許可条件であることから承認していないとの回答がありました。御社自ら森林整備課に照会の上でその結果をお知らせください。

● 地域振興局林務水産課に確認しましたところ、「県としては届出であるので受理している。ただ、防災施設については前から通知している通り変更工程と関係なく早急に完成させてください」と言われました。

私達の見解と県の見解は一致しています。事業者はこれに従いません。

4. 御社は1回目の3者協議の場で昨年7月の洪水時点のA調整池の貯水能力は設計値の6割あったと発言されていました。2回目のコンサル会社の方は1割程度と発言されています。訂正されますか。

● コンサルは計算上厳しく見積もったと理解しています。

自分の都合の良いように解釈しています。

5. A,B,D調整池の7月の洪水前の推定貯水能力をお示ください。

● 当時の状況を見直し、調整塔周りに溜まった土砂の状況等考慮し、推定で申し上げますと、A調整池=5割・B調整池=4割・D調整池=6割程度だったのではないかと思います。

6. 昨年の6月15日、D調整池に溜まった水を動力で排水されました。排水前の画像を提供いただけるとの事でした。USBメモリーで提供ください。

● DVDで渡します。

7. 昨年7月洪水前のA調整池の状況写真が存在するとの発言がありました。この画像もUSBメモリーで提供ください。

● ありませんでした。

8. トーア工業の倒産時期を教えてください。

● 平成10年12月

別紙

防災担当者への質問

H23年12月2日  
担当者 堀内保  
(作成 白石 修)

1. 4月の3者協議で防災管理手順書、現地パトロール実施記録簿、異常時の報告書などと類推できる資料は存在しないと会社より聞きました。維持管理を適切に行うには必須な資料です。前回会合より、半年経過しています。そこで伺います。点検ルート、点検場所、点検項目が記載された手順書について会社より提示、説明はありましたか。
  - はい
2. パトロール実施の記録を作成されていますか。
  - はい (10月から)
3. 防災施設の問題があると判断された時にどのようにされていますか。
  - 本社へ連絡
4. 過去の行政のパトロールに同行されましたか。
  - はい
5. 最近のパトロールは何時なさいましたか。
  - 休日以外毎日
6. パトロールにデジカメを持参されますか。
  - いいえ
7. パトロールのコースは会社から指定されていますか。自分の判断ですか。会社からパトロールコースの指定があれば教えてください。
  - 基本は決められていて、各調整池を廻るルート、他は状況に応じて臨機
8. LWLという言葉は御存知ですか。
  - 知っている。
9. 調整池にどのくらいの土砂が溜まったら撤去しなければならないと思われませんか。
  - LWLより上
10. 土砂を撤去するべきと思われた時にどのように会社へ報告されていますか。
  - 本社へ連絡し、見に来てもらうようにしている。
11. 会社へ土砂撤去が必要だと報告されてから、実際の土砂撤去が実施されるまでを記録されていますか。
  - いいえ
12. 現在のA調整池は土砂撤去をしなければならない状況ですか。
  - はい
13. 今年の5月ごろ、A調整池の排水塔の土砂はLWLを越していました。会社へ報告しましたか。
  - はい
14. 8月8日頃、A調整池の排水塔近辺の土砂の撤去が行われました。お盆明けには大量に土砂が溜まっていました。報告されましたか。
  - はい
15. A調整池の堰堤からの深さを教えてください。
  - 9m
16. 昨年11月までB調整池の堰堤は開放されていました。工事が終わっていないという認識をお持ちでしたか。
  - はい
17. 現在のB調整池は水が溜まったままで抜けません、なぜでしょう。
  - ドレンパッドが目詰まりを起こしている。(その後清掃をして水が抜けるようにした。)

18. D調整池は曲がっている奥まで土砂を撤去しなければならないことを御存知ですか。

● はい

19. 5月の終わりにD調整池の排水塔の周りは岩盤近くまで土砂の撤去が行われました。8月の初めには土砂が溜まっていた。土砂を撤去すべきと判断されましたか。会社へ報告されましたか。

● はい

20. 現在のD調整池は土砂撤去しなければならない状況ですか。

● はい

21. 昨年7月3日の洪水直前のD調整池はどの程度、水が溜まっていたか。

● 殆ど溜まっていなかった。

22. 洪水直後の写真、1ヶ月後の写真にもD調整池の排水塔には梯子とホースが写っています。これが設置されたのは何時でしょう。

● 22年6月12日

23. 梯子と、ホースの設置目的を教えてください。

● 調整池に溜まっていた水を抜く為。

24. この作業に立ち会われましたか。

● はい

- ・ 洪水時点の貯水能力を相変わらず過大に見積もっている。調整池から撤去した土砂量と残っている土砂量から推定すべきである。
- ・ 現地防災施設管理者・堀内氏への質問の回答を鎌田建設の白石氏が作成するとはお笑いである。
- ・ 点検ルート、点検場所、点検項目が記載された手順書が堀内氏に提示されたとのことであるので、公開を要請する。
- ・ 堀内氏が土砂撤去条件に至っていると報告をしたと回答にあるが、これが事実であるとすれば、堀内氏の報告を無視したことになる。防災施設の不適切な維持管理を認める、確信犯的な振る舞いである。